



雪と氷の祭典 第37回ひがしかわ氷まつり

シバレ絶好、花火、ゲームに歓声いっぱい

冬の祭典の道内トップを切って、1月15日から3日間、羽衣公園をメイン会場に「第37回ひがしかわ氷まつり」が開かれました。3日間の期間中大きな天候の崩れもなく、よく冷え込んだ雪の会場で家族連れのにぎやかな歓声が響きました。

ひと夜だけの特設アイスカフェ「ほっこりカフェ&バー」も大好評

今年の祭りは準備期間中から本格的な降雪、冷え込みが訪れ、夜の雪像作り、深夜の氷彫刻コンクール作品作りに絶好のシバレ日和が続きました。雪像17基、氷彫刻コンクールの氷彫刻作品16基は、どの作品もしっかりと雪、氷が締まって上々の仕上がりになりました。

前夜祭恒例の花火は、風もなく冷えて澄み切った空気の中で鮮やかな美しさもひとときわ。観客のため息を誘いました。

メイン会場の羽衣公園には手作りの雪像（高さ約2層）17基、氷彫刻旭川支部の氷彫刻コンクールの作品（16作品）が美しさと精緻さ、造形のおもしろさを競いました。

大滑り台、スノーラフティング、雪中ゲーム、餅つき、氷彫刻体験、雪明



餅つき体験はちびっ子に大人気

りと光のアートを楽しむプロムナードなど、雪を楽しむ仕掛けやゲームがいっぱい。ちびっ子サービスのパパ、ママも十分に楽しんだようです。

EU各国写真家ら22人239作品の寄贈受け、記念作品展

EU・ジャパンフェスト日本委員会（東京、第18回委員長・岩沙弘道三井不動産㈱社長）が主催してEU各国と



▲氷像彫刻旭川支部コンクールグランプリ受賞の「MINOKASAGO」



▲氷雪像コンクールで優勝したミッキーとドナルド（制作中）

日本の写真家24人が1996（平成8）年当時の東京を撮影した作品「TOKYO TODAY」（全24作家267点）のうち、22作家239点分が東川町に譲渡実現しました。氷まつりに合わせて7日から26日まで、文化ギャラリーで記念の「TOKYO TODAY」寄贈作品展」を開き、作品を一般公開しました。

作品譲り受けの贈呈式は、氷祭り前夜祭の15日、羽衣公園ステージで行いました。同委員会の古木

第37回ひがしかわ氷まつり

氷彫刻旭川支部コンクール結果（出品16）

	作品名	氏名	所属
優勝	MINOKASAGO	森田 久	旭川ICC
準優勝	シルバーアロワナ	安田 納	札幌
3	やめられない！とまらない！	山本剛史	旭川ICC
4	月に吠える	岩田英樹	氷土会
5	原始蝦夷	高橋 満	〃

雪像コンクール結果（出品17）

	作品名	団体
最優秀賞	ミッキーとドナルド	北海道環境福祉専門学校食育福祉学科
優秀賞	リトルグリーンメン ～トイ・ストーリー～	同校環境保全学科1年
〃	天人峽子	天人峽温泉
努力賞	ポケットモンスター	東川郵便局
〃	ワンピース「チョッパー」	北海道環境福祉専門学校環境保全学科2年
特別賞	赤ちゃん恐竜ドゥーリー	韓国日本語研修生

小雪像の部
該当なし

修治事務局長が来町し、贈呈目録を松岡市郎町長に手渡しました。



▲氷のコップ、おねえちゃんどっちがうまく作れるかな？